

プラスチックごみの分別回収の実証事業について

那須塩原市は、ごみとなるプラスチックを新たな製品等に生まれ変わらせることで、地域内における資源、経済の循環を目指すため、環境省の事業を活用し、プラスチックごみの分別回収とリサイクルの実証事業を行います。

実施方法	拠点回収を行っている既存の施設に新たな回収スペースを設け、拠点回収によりプラスチックの回収を行います。 【回収スペースの名称】 EcoNaStation（エコナステーション） ※ Eco（エコな）Na（那須塩原市の）Station（回収拠点）	
実施拠点及び回収対象地域	実施拠点：厚崎公民館（談話室内に回収スペースを設置） 対象地域：厚崎公民館区に属する地域	
回収対象プラスチック	製品プラスチック	ｽﾌﾟｰﾝ、ﾊﾞｯｸﾙ、文具、ケース、おもちゃ、植木鉢などのプラスチック製品
	容器包装プラスチック	商品の容器や包装として使われていたプラスチック（※既に回収している、ペットボトル等は除く）
	※ 汚れを落としたプラスチックが回収対象となります。	
実証期間	令和 4（2022）年 10 月 25 日（火）から 11 月末まで ※ 製品プラスチックの回収については、実証終了後も当面の間、継続します。	
実証内容	回収したプラスチックごみの組成調査による成分分析、製品プラスチックのリサイクル実証を行うことにより、今後のプラスチックごみの資源循環のための検討を行います。	

- 本事業は、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に対応するため、環境省の「プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」の採択を受け、実施するものです。（栃木県内では、那須塩原市が唯一採択）
- 実証結果を踏まえ、今後の回収品目や回収方法について検討していきます。
- プラスチックの再製品化、地域内での資源循環の実現について検討していきます。
- 公民館が実施する地域事業や地域活動等と連携し、資源回収を通じた地域交流の推進、コミュニティの活性化についても検討していきます。
- 回収スペースは、ごみのリサイクルへのイメージを明るく前向きなものに変えていけるようなものとしします。

不要となったプラスチックを
厚崎公民館で集めます

10月25日から
無料回収!!

班回覧



EcoNaStation
エコナステーション

ごみとなったプラスチックについて、新たな製品等に生まれ変わらせるリサイクルを進めることで、地域内における資源、経済の循環を目指します。

那須塩原市では、環境省の事業を活用し、厚崎公民館でプラスチックの拠点回収・リサイクル実証を行います。ご家庭でご不要となったプラスチックごみを、ぜひ厚崎公民館までお持ちください。

1 回収期間

令和4（2022）年10月25日（火）から当面の間
利用可能な時間帯：午前8時30分から午後10時まで

※ 施設の利用状況により、閉館時間が早まる場合があります。

※ 祝日、年末年始（12月29日から1月3日まで）は休館となります。

2 回収場所

厚崎公民館
談話室（正面玄関入って左奥）



回収スペースのイメージ

（注）EcoNaStation：Eco（エコな）Na（那須塩原市の）Station（回収拠点）

3 対象者

厚崎公民館区の世帯（事業所は除く）

4 回収対象とするプラスチック（詳細は裏面）

- ① 製品プラスチック（当面の間、回収を継続します）
- ② 容器包装プラスチック（11月末で、回収を終了します）



A large, modern, white industrial building with multiple loading docks and a large stack of blue pallets in the foreground. The building has a clean, minimalist design with a flat roof and several small, square windows. The foreground shows a paved area with a large stack of blue pallets and some white bags. The sky is clear and blue.

リバー株式会社 那須事業所
プラ選別ラインを新設

- ### 1 事業の目的
- (1) 那須塩原市では、容リプラ、製品プラについて現状、ステーション回収、クリーンセンターでの焼却処理・熱回収を行っている。
 - (2) 脱炭素社会や循環型社会の形成推進に向けて、プラスチック類のマテリアルリサイクルに取り組むたいと考えている。
 - (3) プラスチック類のマテリアルリサイクルに関する実績が少ないため、本モデル事業を活用しながら、リサイクルルートの確立、住民への普及啓発・理解促進、各種情報取得・分析を行い、次年度以降の事業拡大に向けた足掛かりにしたいと考えている。
-
- ### 2 事業の内容
- (1) リサイクル方法の検討・確立（地域内リサイクル事業者の調査、リサイクル実施に当たっての調整、リサイクル実証、再生製品利用先の検討等）
 - (2) 公設公民館 1 箇所における拠点回収実証（厚崎公民館を想定、回収ボックス設置、地域住民への普及啓発、収集運搬、各種調査等）
 - (3) 次年度以降の事業拡大に向けた各種検討（上記 2 事業で把握したデータの分析・推計、法第33条の認定取得に向けた可能性検証、情報整理等）
-
- ### 3 事業実施にあたっての工夫
- (1) 分別収集方法を拠点回収とすることで、リサイクル精度向上による確実なマテリアルリサイクルの実施等を目指す。
 - (2) 拠点回収と地域活動を連携することで、プラスチック類の回収・リサイクルにとどまらず、地域活動の活性化、地域課題の自分事化を図る。拠点回収における成果が見込めれば、拠点拡充や回収品目拡充（その他資源物、処理困難物）について検討を行い、さらなる脱炭素社会、循環型社会の形成推進を目指す。
 - (3) リサイクル事業者、再生製品利用事業者について、近隣事業者を中心に検討することで、地域内におけるプラスチック類の資源循環を目指す。また、当該取組が現在、情報共有等を図っている近隣市町（大田原市、那須町等）に波及することを期待する。
 - (4) 子育て支援の関係で、子ども向けプラスチック製品（おもちゃ、食器等）のリユースの可能性についても検討する。